

2007年度ゼミナール論文（タイトル・概要）

氏名	論文タイトル	概要
伊藤 俊介	日本の高齢化問題	日本の高齢化は他国に類を見ないほど急速に進んでいることを明らかにした上で、それが家計、企業・産業、社会にどのような影響を与えるのかを議論している。労働力対策や今後の社会保障制度に提言を行っている。
大島 誠司	スポーツビジネス ビジネスとしてのサッカー 浦和レッドダイヤモンズ	スポーツビジネスを、プロサッカークラブのマネジメントという観点から考察している。特にビジネス的にも成功したクラブとして、浦和レッドダイヤモンズに注目して分析。
大貫 恭史	クレジットカード業界の市場と 電子マネー関係について	クレジットカード業界について、信用供与の仕組みやその業界を支える主体（カード発行主体、加盟店、関連企業など）について説明している。さらに、近年注目されている電子マネーについても説明している。
大野 進	都市と地方の経済格差	都市と地方、地方と地方の経済格差を分析。地方にとって基幹産業のある・なしで所得水準の格差が生じ、人口流出の程度が決まる。地域開発政策の提言も行っている。
岡元 章紘	人材ってなんや？	近年、日本で派遣労働者が増えてきている状況を労働需給面から考察している。また、派遣ビジネスの現状や仕組みを説明した後、人材ビジネスが抱える問題とその対応策について議論している。
粕谷 徹	社会保険庁の不正行為と消えた 年金問題について	消えた年金記録の問題を主たる分析対象として、その実態や今後の対応策を説明している。また、関連して社会保険庁の悪しき体質、年金無駄遣いの実態と規模を議論している。
亀田 大輔	内食・中食・外書の変化	「食」に関する近年の特徴や問題点を分析している。例えば、ボリューム感・高級化の「食」が成功する一方で、食品偽装や食の安全性が問われるといった問題があがっている。
國分 嗣朗	ゲーム産業の発展	日本のゲーム産業について、需要側からの分析（ライフスタイルの変化や少子化の影響）、供給側からの分析（製作に関わる人材の待遇や育成の状況など）を踏まえて、その未来像やとるべき戦略について議論している。
佐藤 達也	ゆとり教育と学力低下	ゆとり教育と学力低下の関係について、かつての「詰め込み教育」との比較や、ゆとり教育を分析する他の研究者・研究機関の議論を踏まえて、独自の見解を提示した。
高階 佳之	地球温暖化による社会問題	地球温暖化が人びとの暮らしにどのような影響を及ぼすのかを、健康被害や生活基盤崩壊といった直接原因だけでなく、食料問題・エネルギー問題といった経済学的にも考察して、対応策を検討した。
高橋 祐介	音楽市場におけるメディアの変遷	音楽CD売上の動向を分析する。音楽CDは80年代に登場し、90年代後半まで売上拡大の一途をたどったが、現在は売上減少傾向にある。このような変化を音楽業界のトレンドやメディアの変遷などを踏まえて分析する。

氏名	論文タイトル	概要
田島 希予志	日本の税金：消費税について	消費税について、導入の経緯からその仕組みまでを説明し、また諸外国の付加価値税との比較をしている。その上で、日本の消費税が低所得者や小規模事業者にとって望ましくない税制であることを示している。
田中 裕一	外食産業について	外食産業は、大手の占める割合が低く、新規参入の多い競争市場にある。同業種だけでなくコンビニもライバルとなるため、各事業者は低価格路線・IT化・多業種化などでしのぎを削る競争をつづけている。
平野 可人	消費のグラフ・データから見る、日本経済	長期統計データを使って、特定の商品の年代を追っての消費動向を分析する。消費動向は、所得の増加や価格の変化だけでなく、ライフスタイルの変化などにも依存していることを明らかにする。
丸山 文昭	コンビニエンス・ストアの現状とその後・・・	日本におけるコンビニエンス・ストア事業のはじまりから現在のような規模まで拡大した要因を分析している。さらに、近年の問題点を明示した上で、これからのコンビニエンス・ストアのあり方を議論している。
渡部 純司	日本の情報通信産業、現在と今後の展開について	日本の通信サービスの現状、P2P 方式によるあらたなビジネスモデルと関連する問題（違法ダウンロードによる各業界への影響やその対策）、携帯電話のキャリアと端末の関係

※ゼミナール論文タイトル一覧は次のページからリンクされています。

「藤生ゼミ・卒業生のページ」 <http://www.cku.ac.jp/fujiu/sotsugyo.htm>

以上